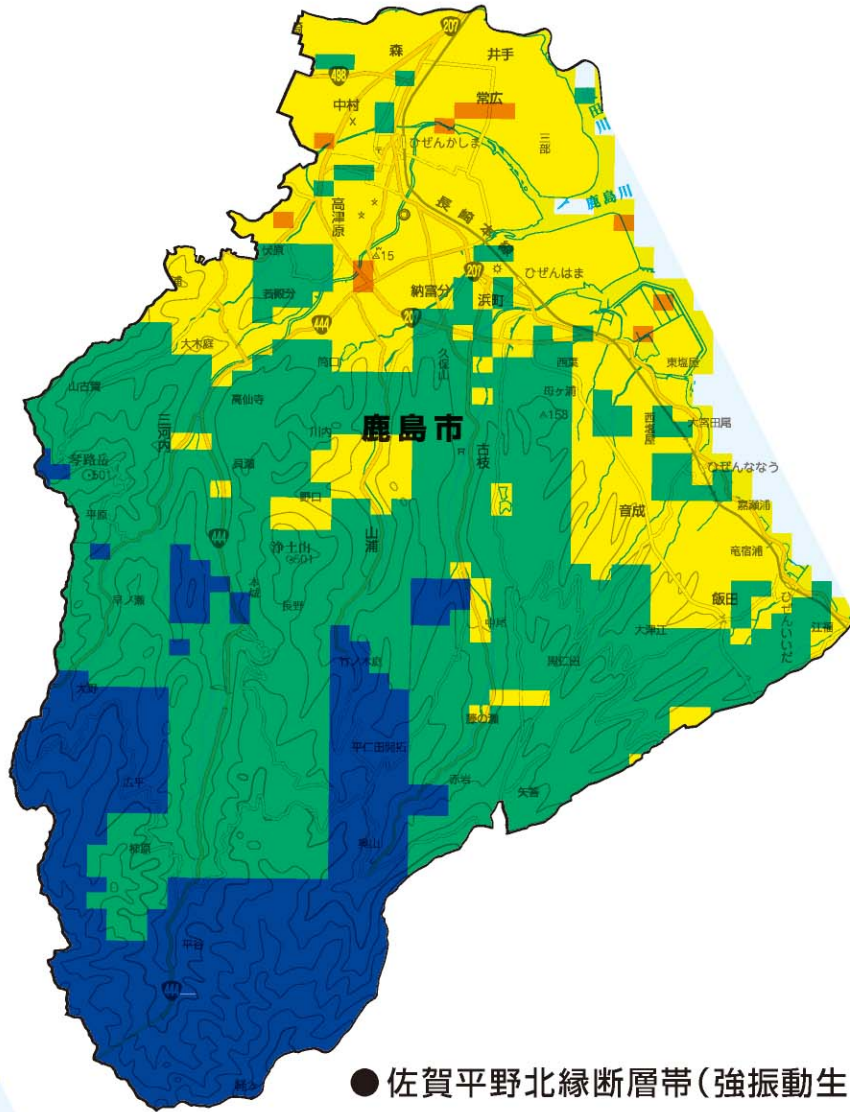
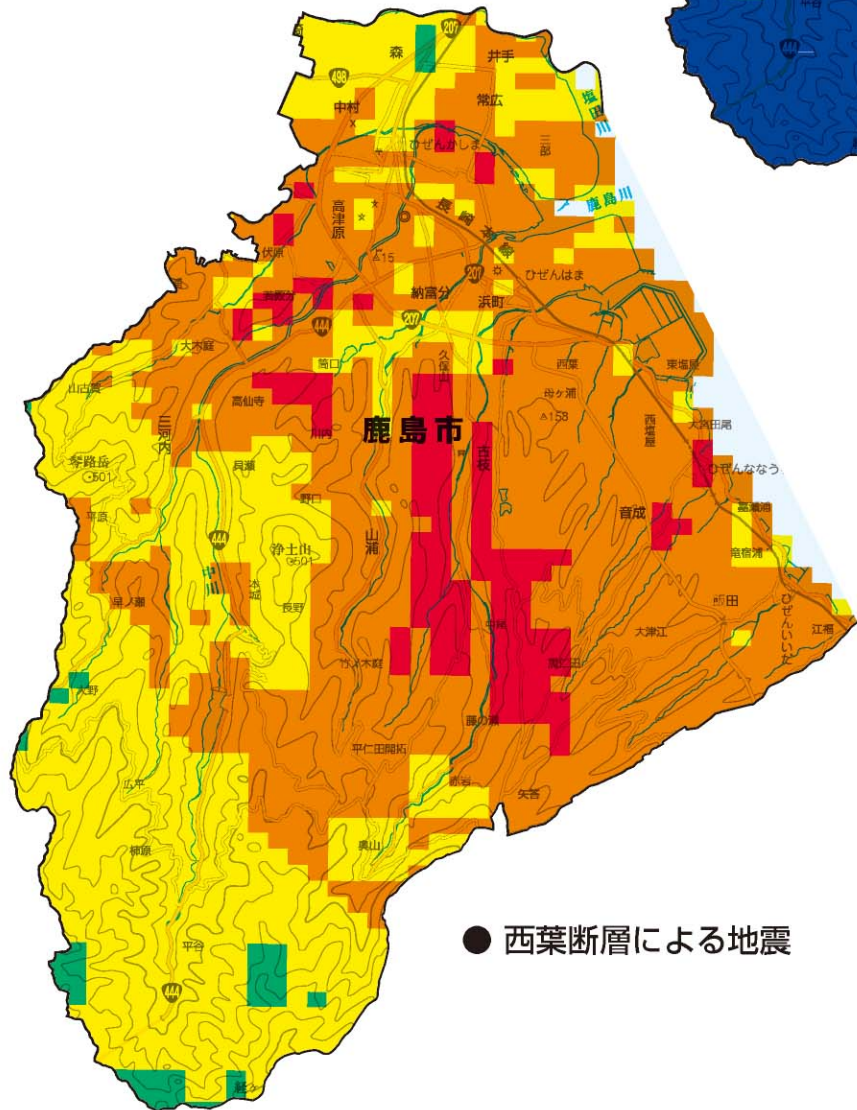


地震による想定被害

このマップは佐賀県が実施した地震被害予測調査(平成25年度～平成26年度)の調査結果を用いて、鹿島市内に大きな被害を及ぼすことが想定される佐賀平野北縁断層帯(M7.5、最大震度7)、西葉断層帯(M6.9、最大震度7)の地震による被害を地図上に表示したものです。



● 佐賀平野北縁断層帯(強振動生成域3つ・西側大)による地震



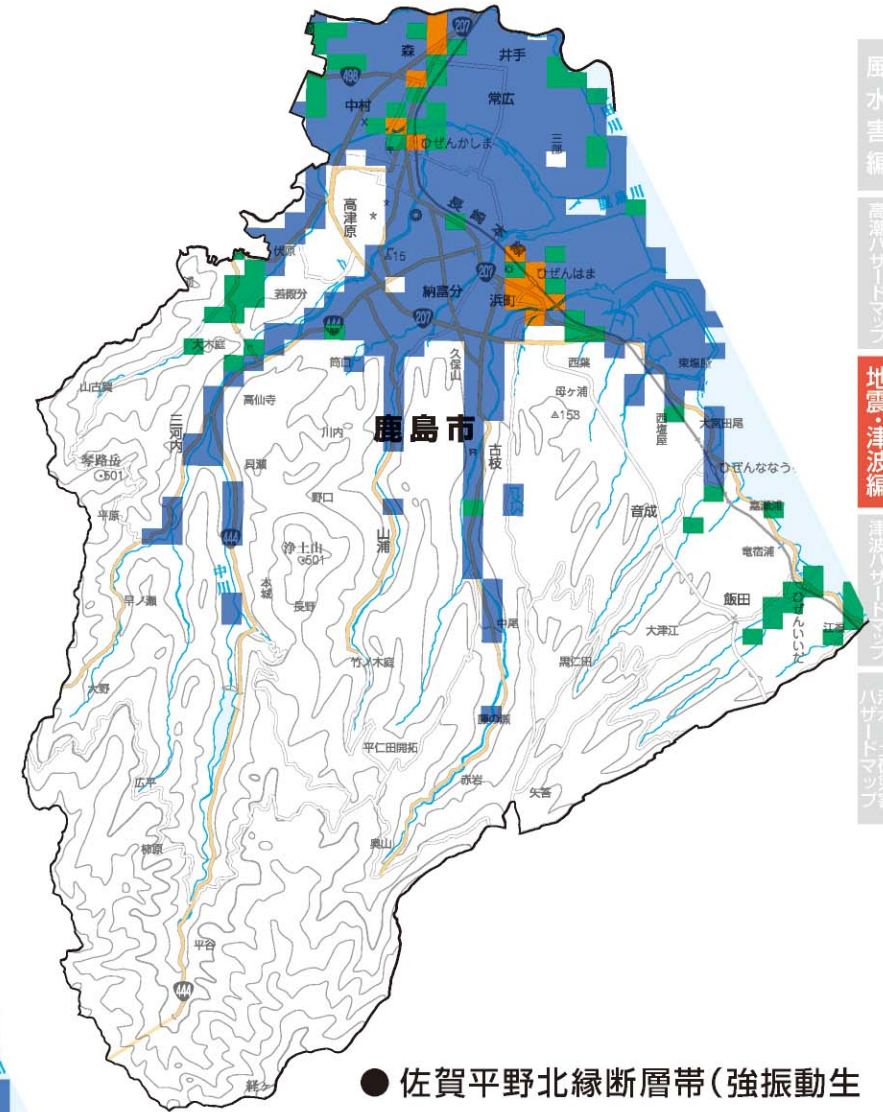
● 西葉断層による地震

震度		人の体感
■	7	揺れに翻弄され、動くこともできず、飛ばされることがある。
■	6強	立っていることができず、這わないと動くことができない。
■	6弱	立っていることが困難になる。
■	5強	大半の人が、物につかまらなると歩くことが難しいなど、行動に支障を感じる。
■	5弱	大半の人が恐怖を覚え、物につかまらなると感じる。

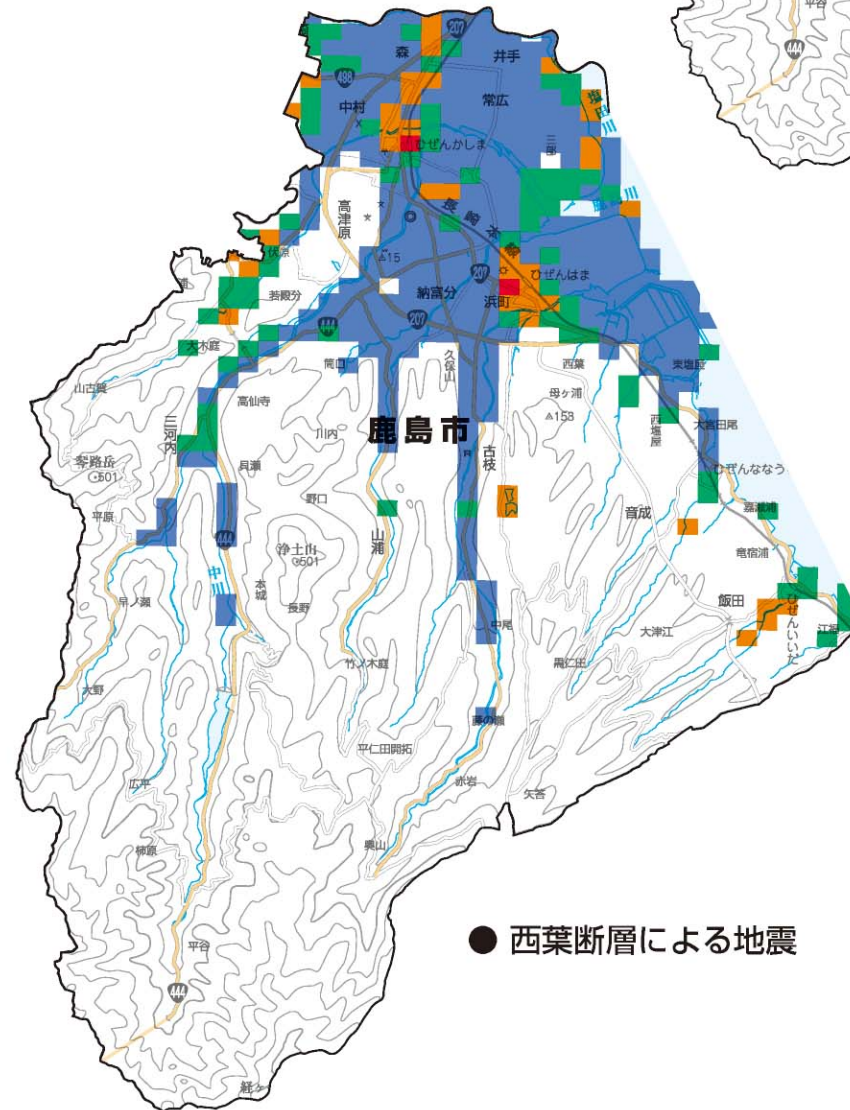
液状化危険度

液状化とは地震の揺れる振動によって地盤が液体状になることです。これによって地盤を失った建物が倒れたり、砂まじりの水が地表に噴出したりします。

液状化現象が発生してしまう原因は、水分を含んでくっついた状態の砂の粒が、振動によって砂と水がバラバラに分かれてしまい、水が上の方に出てくることで地盤が崩れることによって発生します。



● 佐賀平野北縁断層帯(強振動生成域3つ・西側大)による地震



● 西葉断層による地震

液状化危険度	
■	極めて高い
■	高い
■	低い
■	かなり低い
■	なし